

親子聖書日課

NO.1860 2024.5/19-25

名前

[日]創造主が小さな生き物まで配慮しておられる慈愛の神であることを知った時、ヨブは自分の高慢さが打ち砕かれました。もう自分の正しさを主張することができなくなりました。黙して、へりくだった時、神との交わりは再び回復します。

[月]レビヤタン(サタンの化身)は混沌の怪物といわれ、ヨブを悩ます不条理な社会そのものです。この社会の不条理を征服することが出来る者がいるかと主は問われます。混沌の世に光を当たられる神は、ヨブの叫びに唯一答えて下さいます。

[火]遂にヨブは「今、この目であなたを仰ぎ見ます」と告白し、自分の罪を悔い改めます。「この目で仰ぎ見る」とは、神と親しく交わり、御言葉に聴従することです。聞いて理解するだけでは十分ではありません。神に応答する時、み旨が成就します。

[水]詩編は、ダビデ時代から捕囚後までの数百年間、信仰に生きた人々の神への賛歌が集められています。信仰者には、悪人の計らいに「歩まず」、その道に「留まらず」、その座に「座らず」という、きっぱりとした決断がいつも求められています。

[木]「主の油注がれた方」メシアに逆らうのは、現代人も変わりありません。神中心でなく、自己中心に生きたいのです。その結果、罪と死から自由になれません。自由を与えるために、「私の子」主イエスが生まれました。「主を避け所」としましょう。

[金]ダビデは子に裏切られ、民に捨てられた苦しみの中で、主を信じることで平安を得たので、よく眠れました。敵ではなく、主の盾に取り囲まれていたのです。「救いは主のもとにある」と信じる人は幸いです。その人は、敵のためにも祝福を祈れます。



[土]主を呼び求めるなら、誰の声でも聞かれるのではありません。「主の慈しみに生きる(主に従う)人」の声を聞かれます。日頃から「ふさわしい献げ物」を主に献げていますか。まず自分自身を主に献げ、主により頼むなら、必ず、祝福されます。

	聖書	問題	答え
日	ヨブ記 40:1-32	ヨブはひと語りましたが、もう何をいたしませんと言いましたか。	
月	41:1-26	おごり高ぶるものすべてをどうされますか。	
火	42:1-27	しかし今、この目であなたをどうしますか。	
水	詩編 1:1-6	幸いな人とは、何を愛する人ですか。	
木	2:1-12	主をどうする人は、いかに幸いな人ですか。	
金	3:1-9	救いは誰のもとにありますか。	
土	4:1-9	どんな献げ物をささげて主に依り頼むべきですか。	
感想と祈りの課題			